

## ⑧実用新案公報

⑨公告 昭和46年(1971)1月19日

(全3頁)

1

## ⑩横型帯鋼盤における帯鋼案内装置

⑪実 翻 昭41-93877

⑫出 翻 昭41(1966)10月8日

⑬考 案 者 出願人同じ

⑭出 翻 人 天田勇

神奈川県中郡伊勢原町石田2000

代 理 人 弁理士 三好保男

## 図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示すもので、第1図は本考案に係る実施例を装備した横型帯鋼盤の正面図、第2図はその側面図、第3図は本考案に係る帯鋼と案内装置との関係状態を示す平面図、第4図は拡大した要部の横断面図である。

## 考案の詳細な説明

本考案は、帯鋼を一对の軸輪に掛けた横型帯鋼盤における帯鋼の案内装置の改善に係るものである。従来の横型帯鋼盤の案内装置は、その間隔を一定に固定して構成されたものであるから、帯鋼の厚さの不同及び切削作業によって生起する横振れを充分に吸収する能力を欠き、跳動、振動等を発生して機械効率を低下し、部品の消耗を早める欠点がある。そこで本考案は、帯鋼の側面に対して偏圧力を作用させたガイドローラーを当接させ、上記の欠点を解消するとともに、帯鋼のひねり作用をも併せ行うべく提案するものである。

以下図面に示す本考案の一実施例について詳細に説明する。帯鋼1は掛回した一对の回転軸輪2と駆動軸輪3により駆動される横型帯鋼盤の底立側において、帯鋼1の回転軸輪2の近傍の両側面を挟んで、横型帯鋼盤の作業台(図示省略)に対して垂直の回転軸4, 4'に保持されるガイドローラー5, 5'を当接させ、回転軸4を拘束する二又支持体6と介座体7とには角ビン8の両端部をそれぞれ嵌入させて両体6, 7を連結させ、介座体7を固定具9内に回転軸4に対して垂直の方向、即ち作業台(図示省略)に対して平行に形成した内筒孔10内に駆動自在に嵌入させ、介座体7の

一端のねじ等7'に螺合自在に設けた捻子杆11を固定具9の孔12に貫通させて捻子杆11の頭部13を孔12に係合可能に形成するとともに回動可能に設け、内筒孔10に挿入したスプリング5' 14の両端を介座体7と固定具9に挟持して当接させ、固定具9を枠体15'に螺合自在に設けてある。一方ガイドローラー5'の回転軸4'を持架する二又支持体6'と枠体15と/orビン8'の両端部をそれぞれ挿入させて両体6', 15を相互に回動不可能に連結させ、枠体15, 15'を本体支持体16に取り付けている。また、上記と同様に、ガイドローラー5, 5'から離れてガイドローラー17, 17'を支持する枠体18を支持枠19に取り付けている。尚、図面中20は台盤、21は被切断物22の支持台、23, 24は支持柱、25は回転軸2のカバー、26は駆動軸輪3のカバー、27は駆動軸輪3の駆動モーター、28, 28'は給油パイプである。

上記の様な構造であるから、切削作業が開始すると、帯鋼1は矢印印の方向に回転する。そこで回転軸2から離れた帯鋼1は、垂直状のガイドローラー5と5'に挟まれながらひねられて案内され、被切断物22を駆引きしながら上方のガイドローラー17, 17'に案内されて元の横断状態25に復帰し、駆動軸輪3に掛回されて行くのである。その場合、帯鋼1は厚さの不同及び切削作業において生起する横振れによつて、ガイドローラー5を矢印印の方向に對して押圧するが、ガイドローラー5, 17はスプリング14によって常時帯鋼30の1の側面に頸応しつつこれを押圧し、上記帯鋼の厚さの不同及び横振れを吸収するが、この際介座体7が常に内筒孔10に沿つて作業台(図示省略)に平行に駆動するから、ガイドローラー5, 17の回転軸は常に正確に作業台(図示省略)に垂直の位置において回動し、切削位置における帯鋼1を作業台(図示省略)に垂直に、即ちひねりの方向に保持することができる。又本実施例においては、ガイドローラーの一方のみに上記弾圧手段を設ける場合を採り上げたが、帯鋼1を挟持する相

3

対する両方のガイドローラーにそれぞれ上記弾圧手段を設ける場合においては、特に効果が大きい。また、作業条件に応じてガイドローラー5, 17の弾圧力を加減調整する場合には、頭筋13を回動させると、介圧体7は二叉支持体6及び角ピン8によつて回り止めされているから、介圧体7は進退してスプリング14の挿時間隔を調整し、スプリング14の弾力を変化させ、或いは、スプリング14の作用範囲を規制させて、上記の効果を各種の作業状況において維持することができる。

尚、弾圧手段には本実施例の如く、スプリングによることなく他の手段、例えば油圧等を用いることでも本考案の効果を損することなく実施可能である。

## 実用新案登録請求の範囲

帯縫盤1を一对の軸輪に掛回して回動される模型

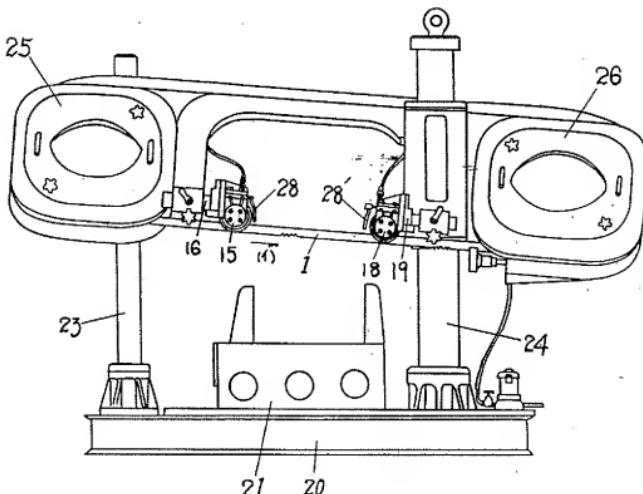
5 帯縫盤の切断位置の両側において、盤体の1部に設けたガイドローラー5, 5'及び17, 17'で夫帯縫盤1の両側面を挟持する構成にして、各一对のガイドローラーの回動軸が横型帶縫盤の作業台5に対しても垂直になるように夫々のガイドローラーの両端を保持する二叉支持体を相対して設け、該支持体の内少くともその1つを介在体7に垂直に固定し、かつ介圧体7を固定具9内に該作業台10に対して平行に形成した内筒孔10に沿つて摺動自在に構成し、さらに介圧体7の他側をスプリング14で押圧して成るガイドローラーを以つて帶縫盤のひねりと防振とを行うことを特徴とした横型帶縫盤における帶縫盤内装置。

15

## 引用文献

実 公 昭9-14421

第1図



第2図

